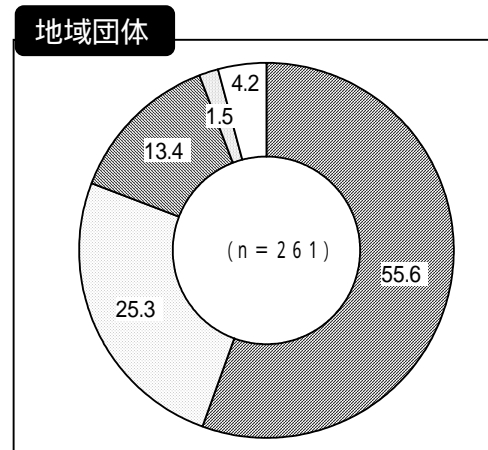
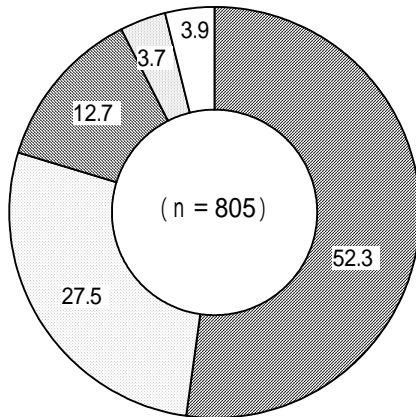


## 協働のまちづくりに関する区民意識調査（平成 17 年 3 月）抜粋

### 第 3 章 地域におけるコミュニティや協働について

#### （ 1 ）近隣住民（ご近所）が自主的に力を合わせて地域の課題に取り組むことについて

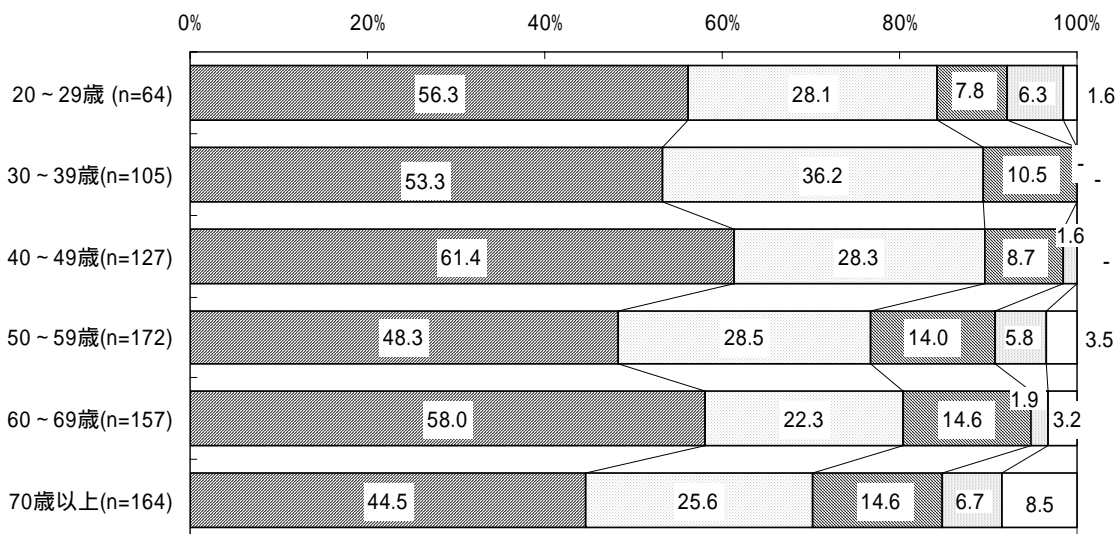
近隣住民による地域の課題への取り組みについては、「身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う」が 52.3%、「重要だとは思いますが、近所の力を合わせることは難しい」が 27.5%、「近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う」が 12.7%、「どちらともいえない」が 3.7%となっている。



■ 身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う      □ 重要だとは思いますが、近所の力を合わせることは難しい  
 ■ 近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う      □ どちらともいえない  
 □ 無回答

#### 【年齢別】

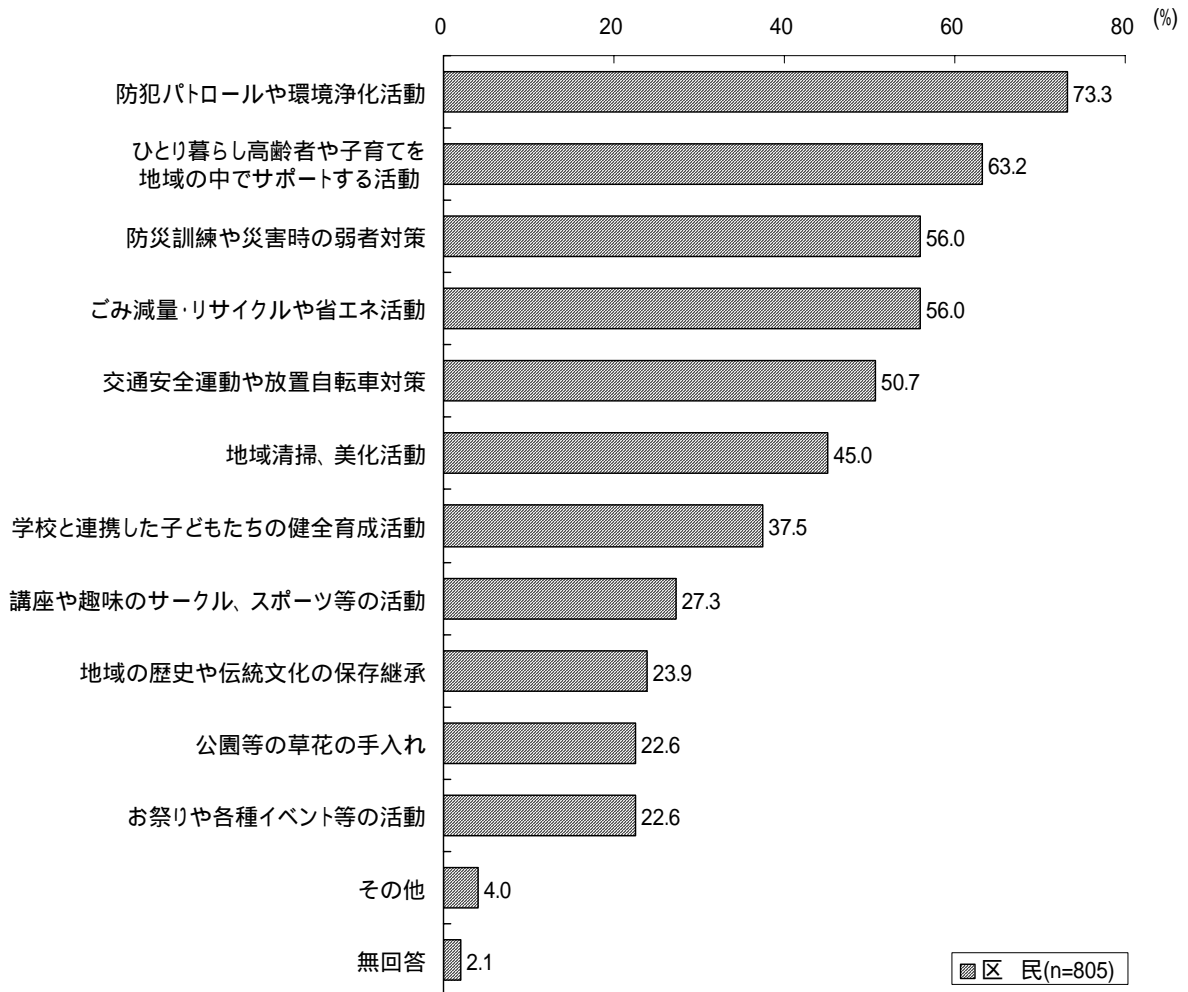
年齢別にみると、30～34 歳では「重要だとは思いますが、近所の力を合わせることは難しい」（34.8%）の割合が全体に比べて高い。また、50 歳以上は「近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う」の割合が高めである。



■ 身近な問題を解決する上で重要な取り組みだと思う  
 □ 重要だとは思いますが、近所の力を合わせることは難しい  
 ■ 近所で力を合わせても解決できない問題の方が多いと思う  
 □ どちらともいえない  
 □ 無回答

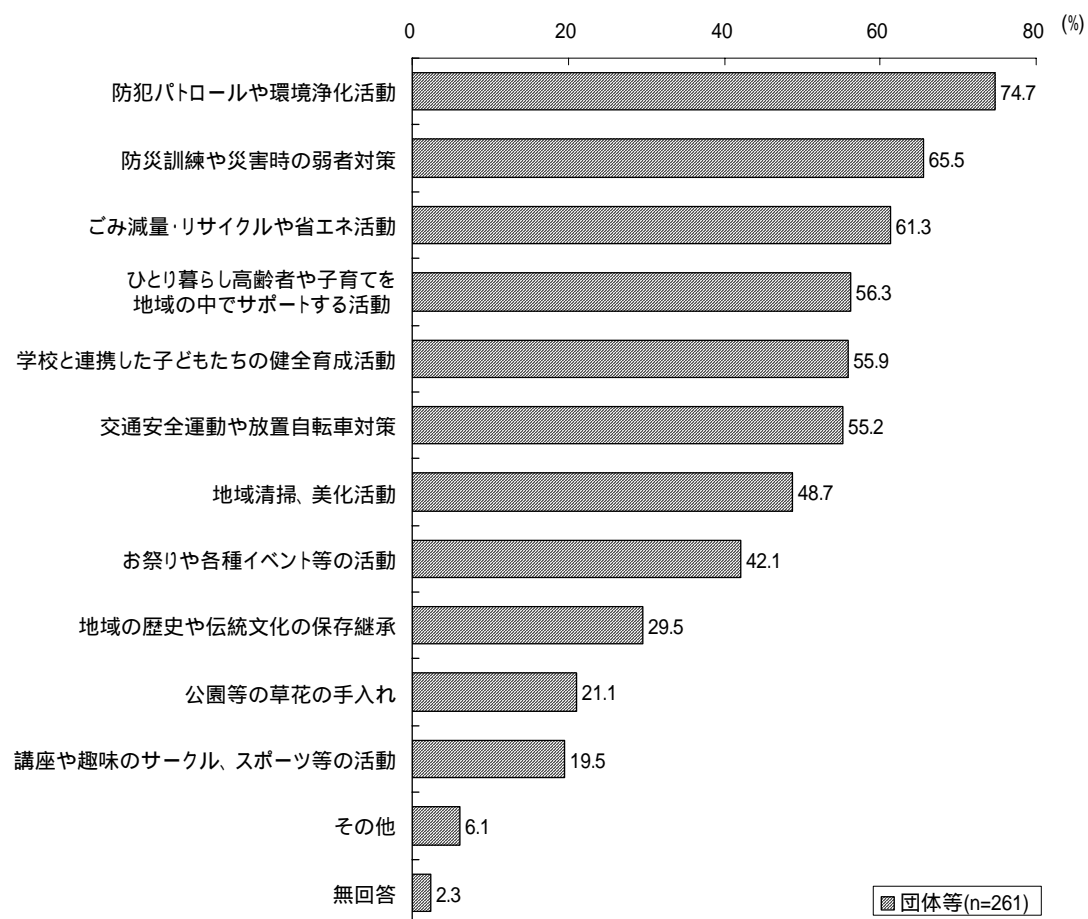
(2) 近隣住民が主体的に、また区民と行政とが協働するかたちで行われている地域活動のうち重要と思うもの

近隣住民による地域活動で重要と思うものについては、「防犯パトロールや環境浄化活動」が最も多く 73.3%あり、次いで「ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動」(63.2%)、「防災訓練や災害時の弱者対策」「ごみ減量・リサイクルや省エネ活動」(ともに 56.0%)、「交通安全運動や放置自転車対策」(50.7%) が5割～6割台で続く。



複数回答

## 地域団体



【年齢別】

年齢別にみると、全体で割合が高い「防犯パトロールや環境浄化活動」については特に30～39歳での割合が高く（84.8%）、「ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動」については50～59歳における割合が高い（71.5%）。

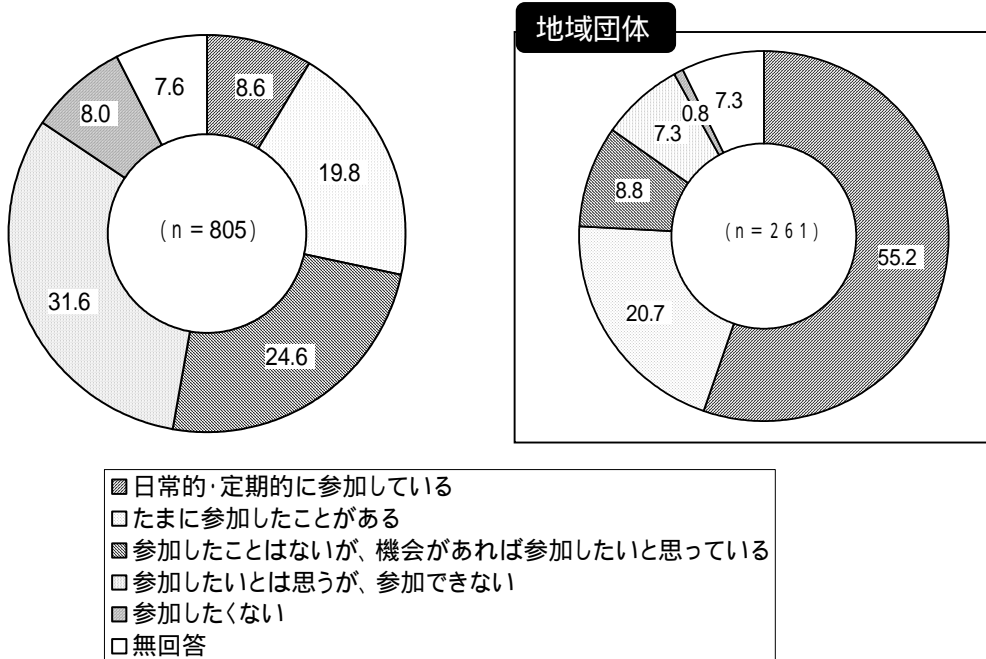
各年齢で全体に比べて目立つ項目としては、20～29歳で「お祭りや各種イベント等の活動」（29.7%）、30～39歳では「地域清掃、美化活動」（57.1%）、40～49歳では「学校と連携した子どもたちの健全育成活動」（50.0%）、50～59歳では前述の「ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動」、60～69歳では「交通安全や放置自転車対策」（56.7%）「講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動」（38.2%）、70歳以上では「交通安全や放置自転車対策」（55.5%）の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

	件数	防犯パトロールや環境浄化活動	交通安全運動や放置自転車対策	防災訓練や災害時の弱者対策	地域清掃、美化活動	活ごみ減量・リサイクルや省エネ	公園等の草花の手入れ	ひとり暮らし高齢者や子育てを地域の中でサポートする活動
全体	805	73.3	50.7	56.0	45.0	56.0	22.6	63.2
20～29歳	64	71.9	42.2	42.2	51.6	51.6	21.9	51.6
30～39歳	105	84.8	47.6	63.8	57.1	60.0	24.8	67.6
40～49歳	127	77.2	48.0	63.0	40.2	59.1	11.0	66.9
50～59歳	172	69.8	48.3	62.2	43.6	61.6	23.3	71.5
60～69歳	157	72.6	56.7	49.0	49.0	53.5	29.9	63.7
70歳以上	164	70.1	55.5	52.4	37.2	51.8	23.2	55.5
	件数	学校と連携した子どもたちの健全育成活動	地域の歴史や伝統文化の保存継承	講座や趣味のサークル、スポーツ等の活動	お祭りや各種イベント等の活動	その他	無回答	
全体	805	37.5	23.9	27.3	22.6	4.0	2.1	
20～29歳	64	26.6	29.7	23.4	29.7	0.0	1.6	
30～39歳	105	40.0	21.9	25.7	23.8	6.7	0.0	
40～49歳	127	46.5	18.9	18.1	19.7	1.6	0.0	
50～59歳	172	36.0	24.4	26.7	23.8	2.9	0.0	
60～69歳	157	41.4	23.6	38.2	21.0	4.5	1.3	
70歳以上	164	32.9	27.4	28.0	23.2	5.5	6.7	

複数回答

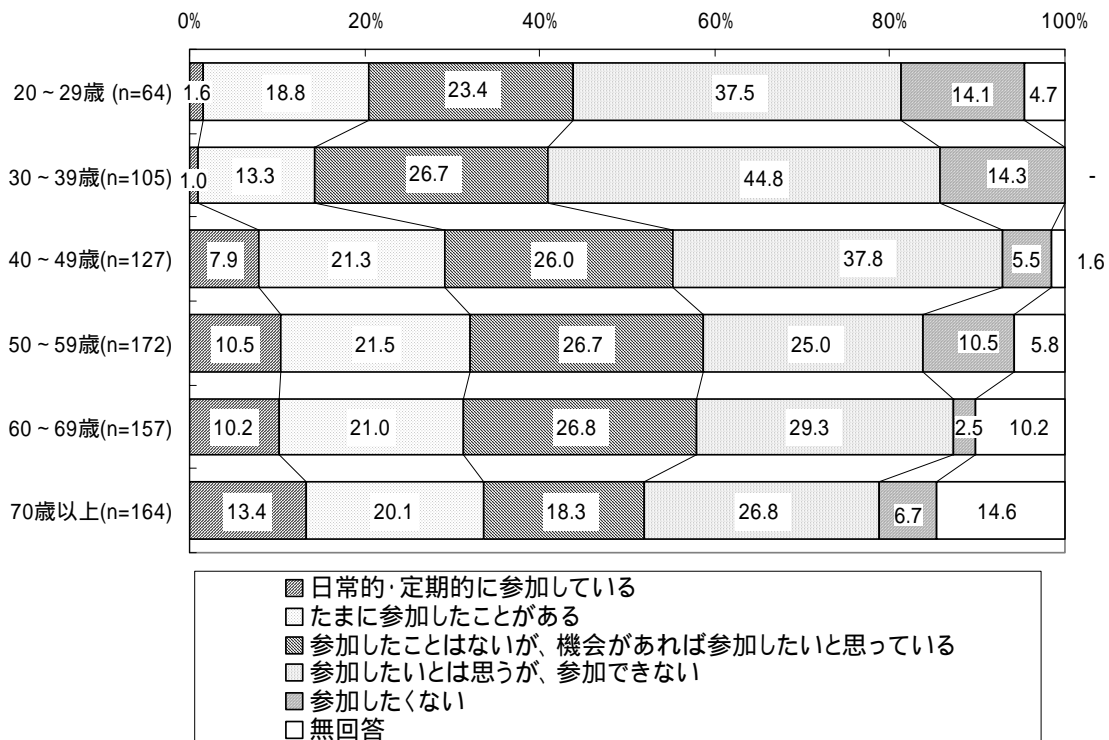
### (3) 地域活動への参加状況

地域活動への参加状況については、“参加している・参加したことがある”が28.4%（「日常的・定期的に参加している」8.6% + 「たまに参加したことがある」19.8%）、「参加したことはないが、機会があれば参加したいと思っている」が24.6%、「参加したいと思うが、参加できない」が31.6%、「参加したくない」が8.0%となっている。



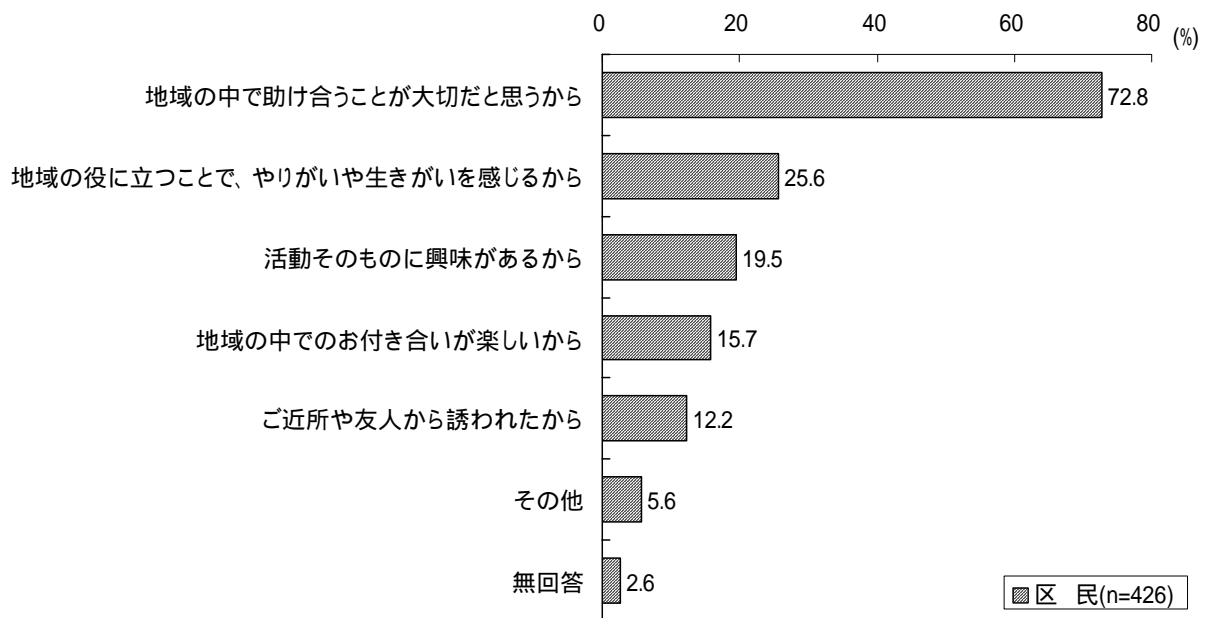
#### 【年齢別】

年齢別にみると、40歳以上では“参加している・参加したことがある”の割合が全体に比べて高めであるが、20～29歳、30～39歳では「参加したいと思うが、参加できない」「参加したくない」の割合が高い。



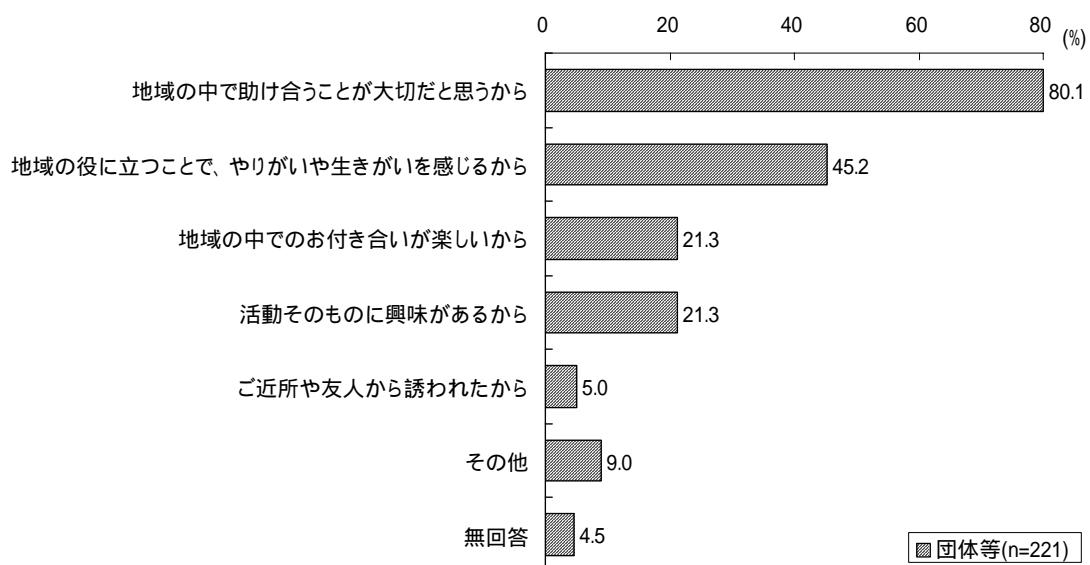
### (3) - 参加している・参加したいと思う理由

参加している・参加したいと思う理由については、「地域の中で助け合うことが大切だと思うから」が最も多く 72.8%、次いで「地域の役に立つことで、やりがいや生きがいを感じるから」(25.6%)、「活動そのものに興味があるから」(19.5%)、「地域の中での付き合いが楽しいから」(15.7%)となっている。



複数回答

### 地域団体



【年齢別】

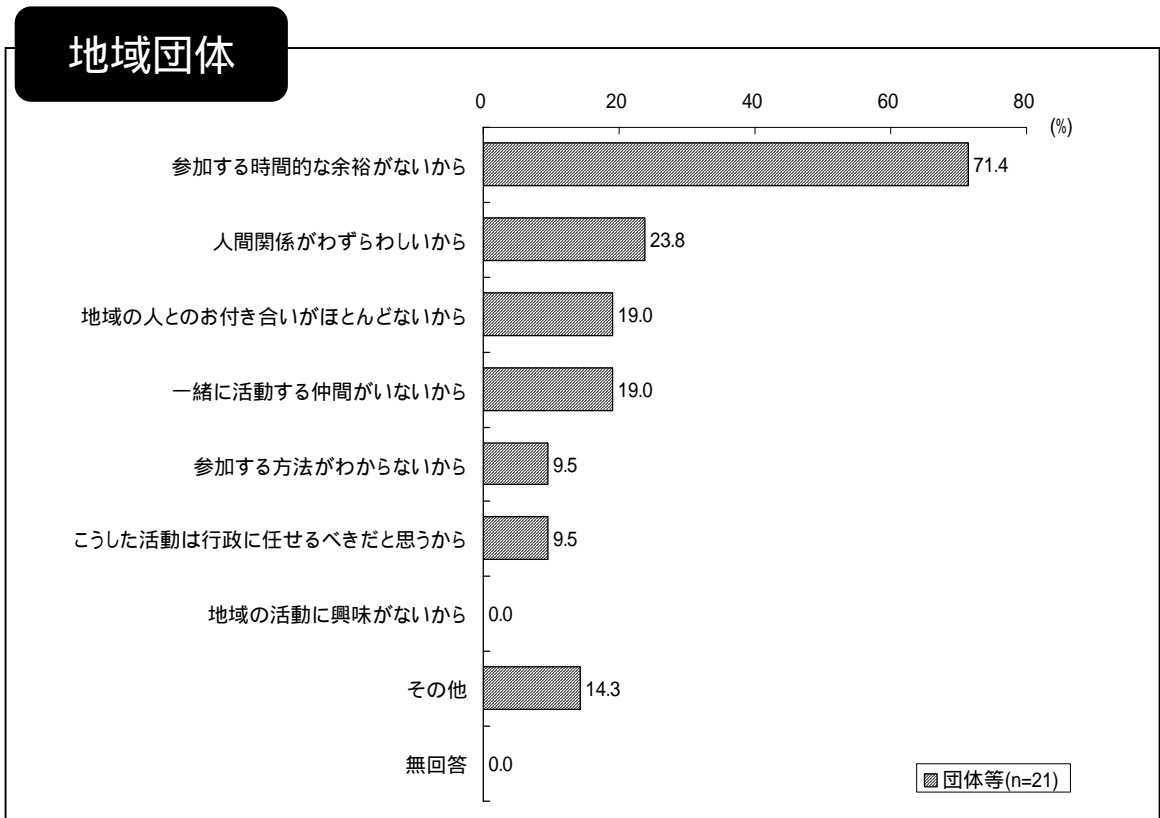
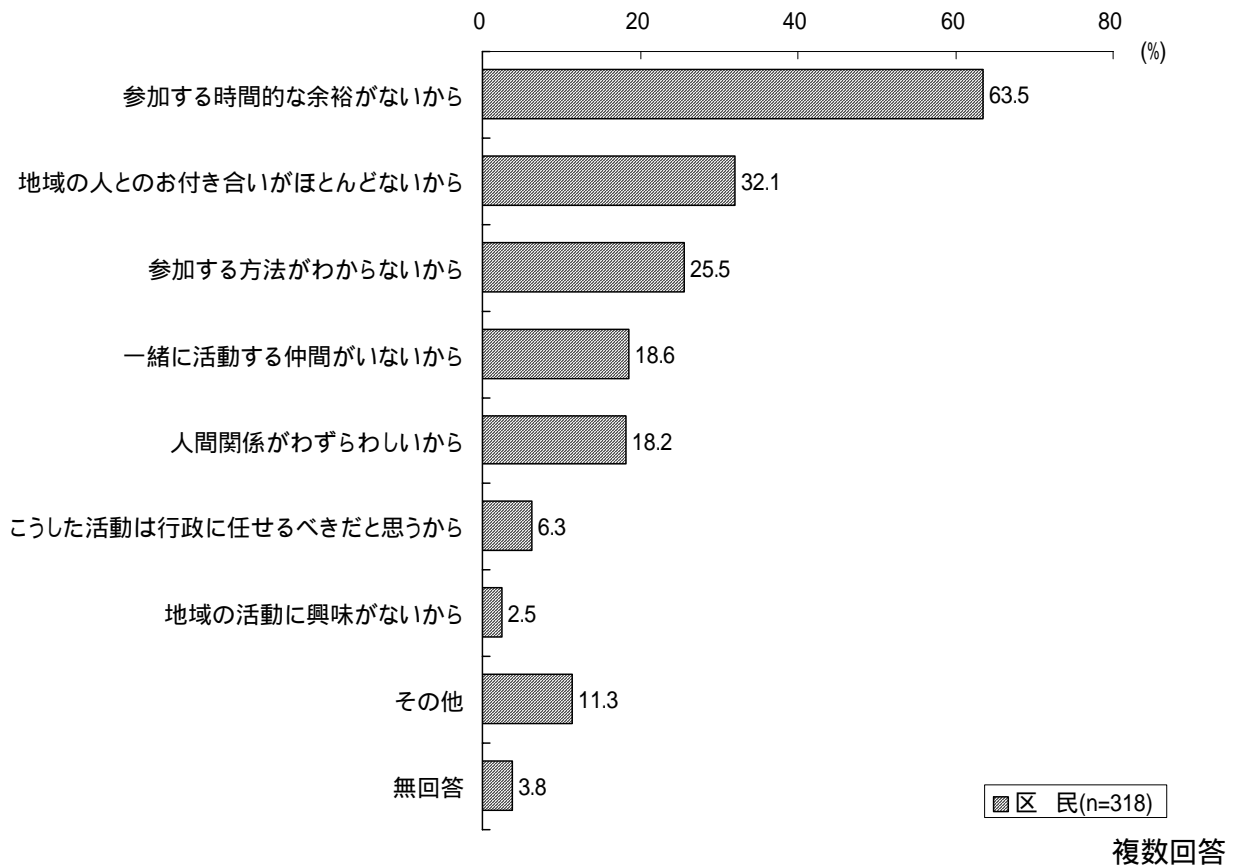
年齢別にみると、全体での割合が高い「地域の中で助け合うことが大切だと思うから」については、60～69歳、70歳以上では割合が低い（それぞれ60.0%、32.7%）。また、「地域の役に立つことで、やりがいや生きがいを感じるから」については特に30～39歳、40～49歳での割合が高くなっている（それぞれ46.8%、38.2%）。「活動そのものに興味があるから」での割合が高いのは60～69歳（30.0%）、「地域の中でのお付き合いが楽しいから」での割合が高いのは20～29歳（42.4%）、30～39歳（30.6%）、40～49歳（36.4%）となっている。

	件数	かこ地域が大切だと思う	合地域が楽しいのでお付き合い	がで、地域の役を感ずるかや生き	わご近れた所から友人から誘	が活あ動そのもの興味	その他	無回答
全体	426	72.8	15.7	25.6	12.2	19.5	5.6	2.6
20～29歳	28	75.8	42.4	24.2	33.3	21.2	3.0	0.0
30～39歳	43	74.2	30.6	46.8	11.3	21.0	4.8	1.6
40～49歳	70	67.3	36.4	38.2	25.5	12.7	5.5	0.0
50～59歳	101	73.8	24.6	21.3	13.1	18.0	8.2	3.3
60～69歳	91	60.0	16.0	32.0	18.0	30.0	22.0	0.0
70歳以上	85	32.7	7.3	25.5	18.2	9.1	23.6	16.4

複数回答

### (3) - 参加できない・参加したくない理由

参加できない・参加したくない理由については、「参加する時間的な余裕がないから」が最も多く63.5%、次いで「地域の人とお付き合いがほとんどないから」(32.1%)、「一緒に活動する仲間がないから」(18.6%)、「人間関係がわずらわしいから」(18.2%)と続く。





【居住歴】

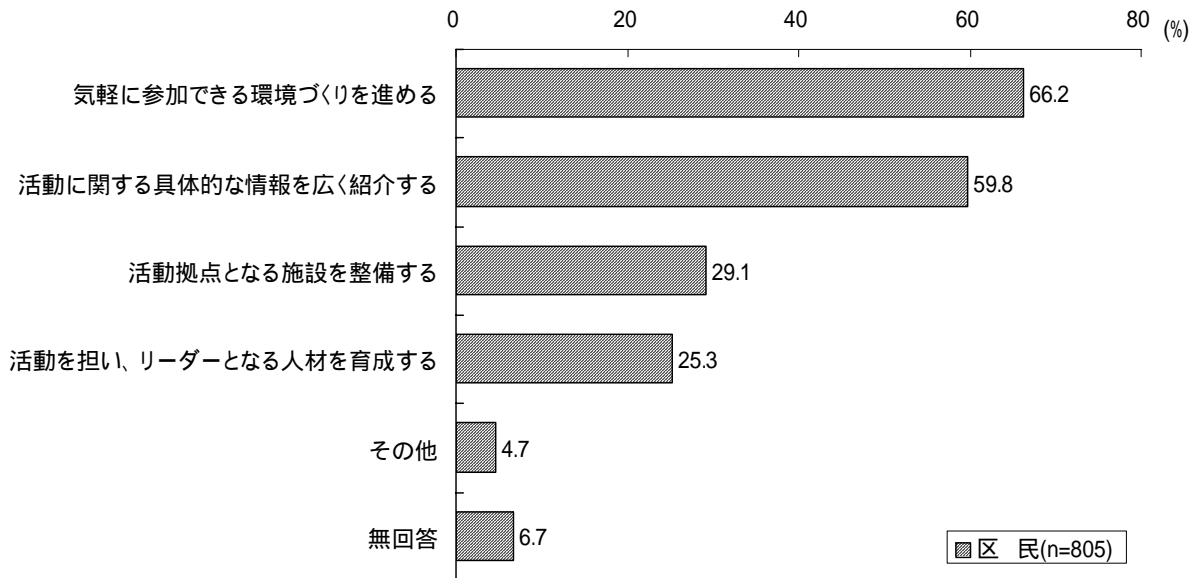
居住歴別にみると、それぞれ「参加する時間的な余裕がないから」の割合が高いものの、その他の理由として豊島区にずっと住んでいる人は「人間関係がわずらわしいから」（26.2%）、他の地域からきた人は「地域の人との付き合いがほとんどないから」（35.8%）、「一緒に活動する仲間がいないから」（21.9%）、「参加する方法がわからないから」（28.9%）の割合がそれぞれ高くなっている。

	件数	らな参加する時間的	わ参加する方が	ん付地合のいい人がほと	ら仲間緒に活な動いす	ら人間関係がわ	味地がな活か動ら興	き行こだ政うに思任たうせ活かる動らべは	その他	無回答
全体	318	63.5	25.5	32.1	18.6	18.2	2.5	6.3	11.3	3.8
ずっと住んでいる	126	67.5	20.6	27.0	14.3	26.2	3.2	6.3	10.3	3.2
他の地域からきた	187	61.0	28.9	35.8	21.9	13.4	2.1	6.4	12.3	3.7

複数回答

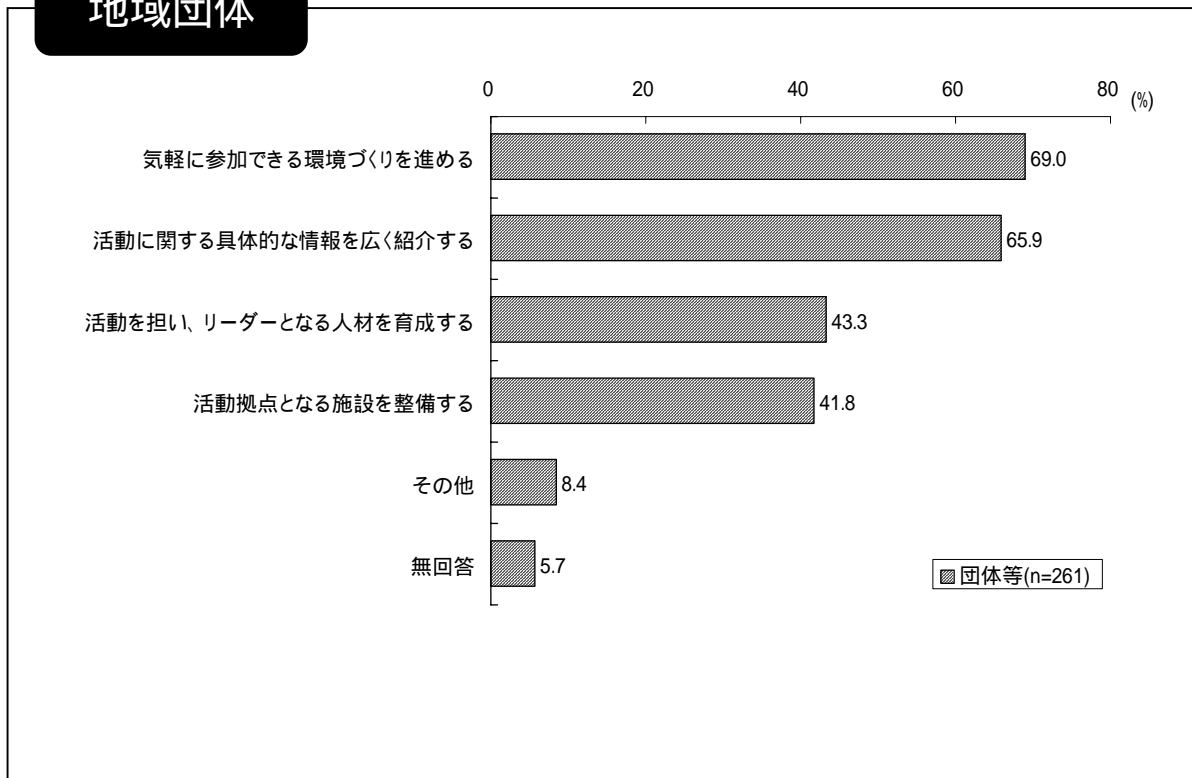
(4) 地域活動により多くの人に参加できるようにするために必要なこと

地域活動への区民参加を推進するために必要なことについては、「気軽に参加できる環境づくりを進める」が最も多く 66.2%あり、「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」(59.8%) もほぼ同じ割合を示している。次いで「活動拠点となる施設を整備する」(29.1%)、「活動を担い、リーダーとなる人材を育成する」(25.3%)と続く。



複数回答

地域団体



【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳では「活動拠点となる施設を整備する」(37.5%)、40～49歳では「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」(70.1%)、50～59歳では「活動に関する具体的な情報を広く紹介する」(64.5%)、「活動を担い、リーダーとなる人材を育成する」(29.1%)、「活動拠点となる施設を整備する」(34.9%)、60～69歳では「活動を担い、リーダーとなる人材を育成する」(29.3%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

	件数	活動に関する具体的な情報を広く紹介する	活動に関する具体的な情報を広く紹介する	活動に関する具体的な情報を広く紹介する	活動に関する具体的な情報を広く紹介する	活動に関する具体的な情報を広く紹介する	その他	無回答
全体	805	59.8	66.2	25.3	29.1	4.7	6.7	
20～29歳	64	62.5	65.6	12.5	37.5	6.3	6.3	
30～39歳	105	63.8	64.8	21.0	29.5	8.6	1.0	
40～49歳	127	70.1	71.7	22.8	25.2	3.1	0.8	
50～59歳	172	64.5	68.6	29.1	34.9	3.5	2.9	
60～69歳	157	55.4	68.2	29.3	29.9	5.1	6.4	
70歳以上	164	48.8	59.8	28.0	22.0	4.3	16.5	

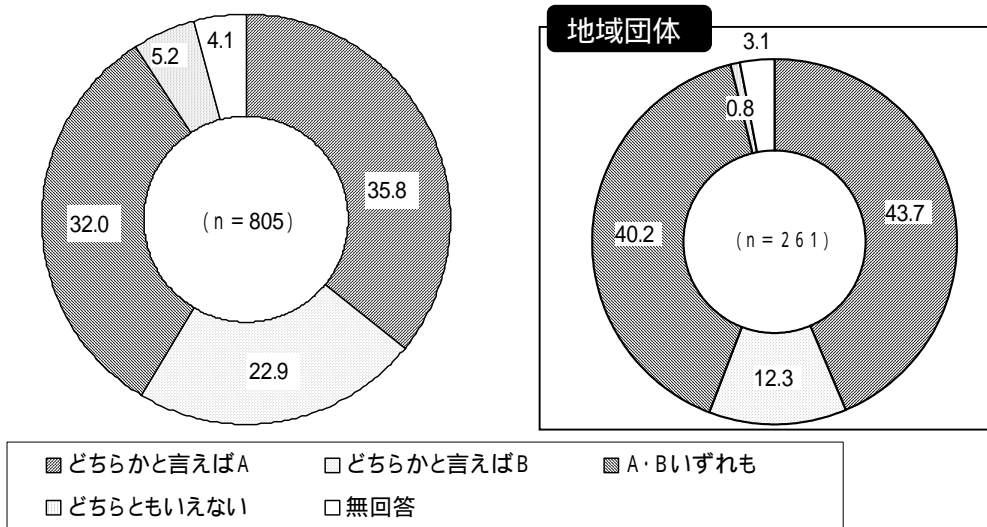
複数回答

( 5 ) 地域の課題を解決していくために活発になるべき地域活動

次のA・Bふたつの組織について、地域における様々な課題を解決していくためにどちらが活発になっていくべきか聞いた。

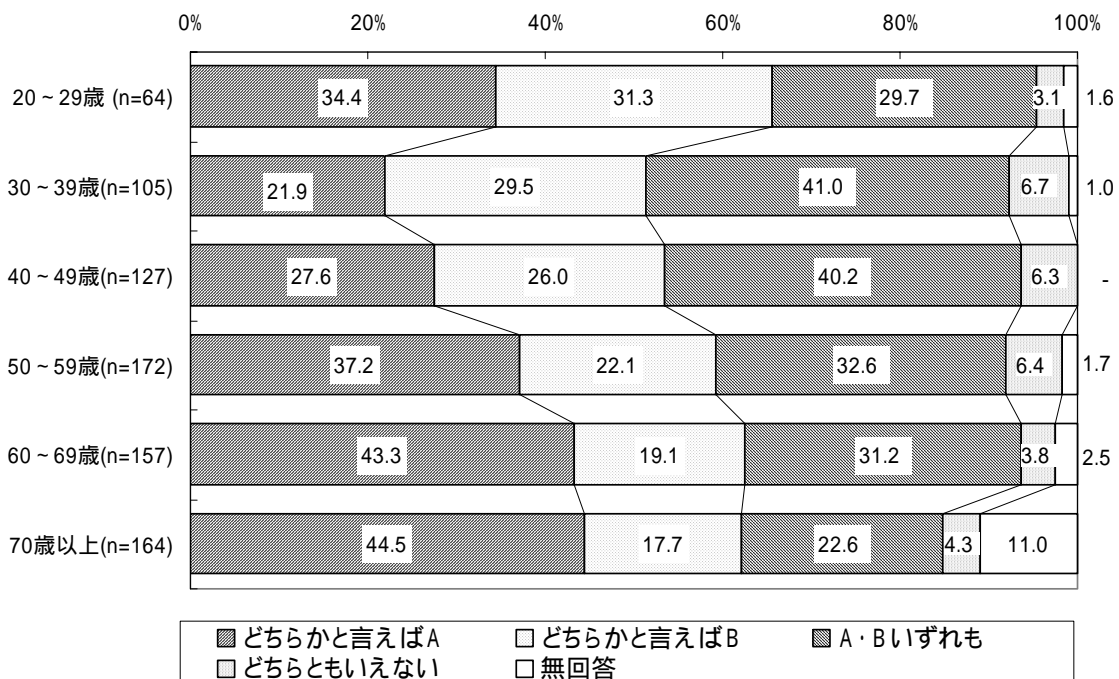
A	町会・自治会等のように一定の地域に暮らす住民同士が力を合わせて活動する組織
B	環境・福祉・教育など、特定のテーマに関心のある人が、住んでいる地域に関わらず集まって活動する組織

地域で活発となっていくべき組織については、「どちらかと言えばA」が 35.8%、「どちらかと言えばB」が 22.9%、「A・Bいずれも」が 32.0%、「どちらともいえない」が 5.2%となっている。



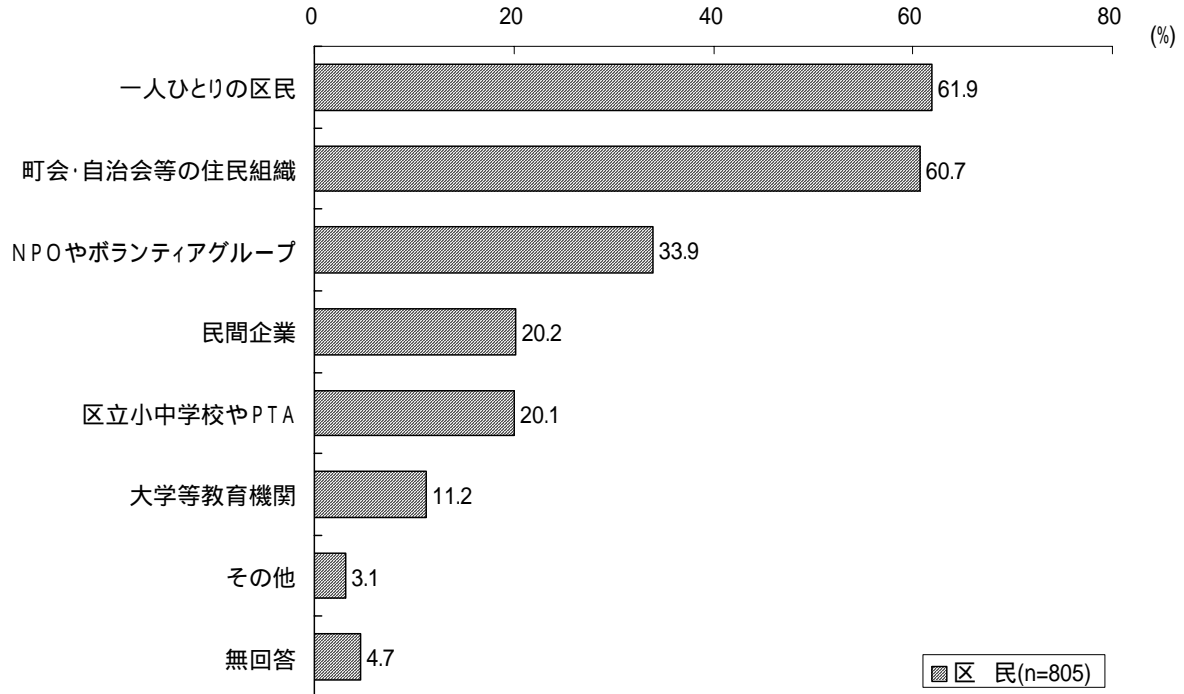
【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳で「どちらかと言えばB」(31.3%)、30～39歳、40～49歳では「A・Bいずれも」(それぞれ 41.0%、40.2%)、50～59歳は全体とほぼ同じ傾向だが「どちらかと言えばA」の割合が高く(37.2%)、60歳以上では明らかに「どちらかと言えばA」の割合が高くなる傾向にある。



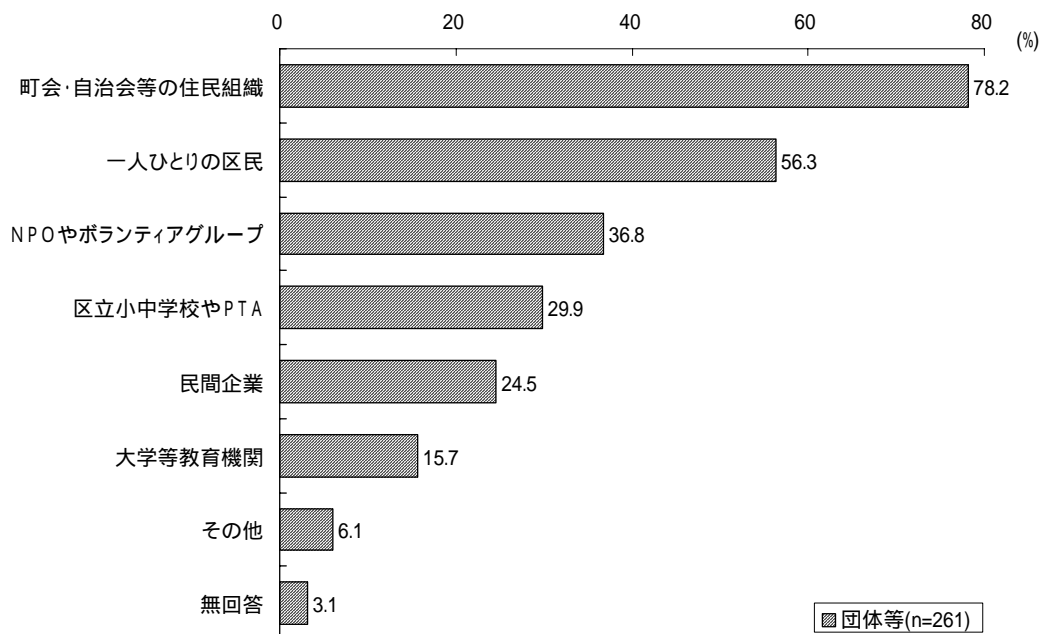
(6) これからの地域のまちづくりを担っていく主体

地域のまちづくりを担っていく主体については、「一人ひとりの区民」が最も多く(61.9%)、「町会・自治会等の住民組織」もほぼ同じ割合を示している。次いで、「NPOやボランティアグループ」(33.9%)、「民間企業」(20.2%)、「区立小中学校やPTA」(20.1%)が2割~3割台で続く。



複数回答

地域団体



【年齢別】

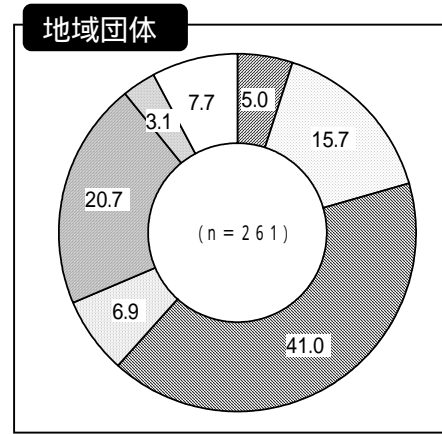
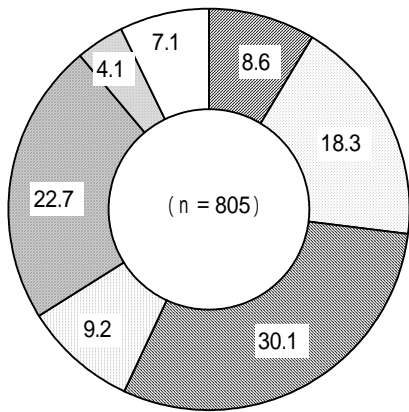
年齢別にみると、20～29歳では「区立小学校やPTA」(28.1%)、「民間企業」(34.4%)、30～39歳では「一人ひとりの区民」(73.3%)、「民間企業」(28.6%)、40～49歳では「区立小学校やPTA」(26.8%)、50～59歳では「一人ひとりの区民」(64.5%)、60～69歳、70歳以上では「町会・自治会等の住民組織」(それぞれ70.1%、69.5%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。

	件数	一人ひとりの区	町会・自治会等の住民組織	区立小学校やPTA	NIPオーガニズ	民間企業	大学等教育機関	その他	無回答
全体	805	61.9	60.7	20.1	33.9	20.2	11.2	3.1	4.7
20～29歳	64	65.6	53.1	28.1	31.3	34.4	10.9	0.0	3.1
30～39歳	105	73.3	49.5	14.3	35.2	28.6	14.3	6.7	3.8
40～49歳	127	61.4	59.8	26.8	35.4	26.0	10.2	1.6	1.6
50～59歳	172	64.5	55.2	19.8	34.9	16.3	10.5	4.1	2.3
60～69歳	157	61.8	70.1	17.8	36.9	15.3	10.8	3.8	3.8
70歳以上	164	53.7	69.5	17.7	30.5	14.6	11.6	1.8	7.9

複数回答

(7) 地域の課題を解決する場合の住民と行政の役割分担のあり方

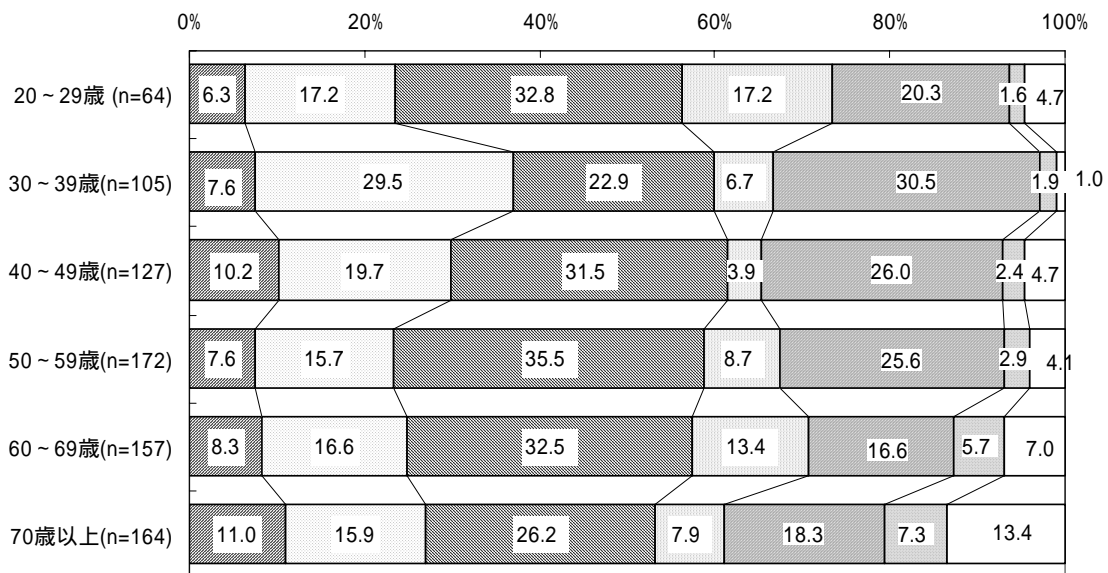
地域課題を解決する場合の住民と行政との役割分担については、「行政が行う」が26.9%（「基本的に行政が行う」8.6% + 「区民の参加を広げながら行政主体で行う」18.3%）、「住民と行政とが協力し、協働して行う」が30.1%、「住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する」が9.2%、「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」が22.7%、「よくわからない」が4.1%となっている。



- 基本的に行政が行う
- 区民の参加を広げながら行政主体で行う
- 住民と行政とが協力し、協働して行う
- 住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する
- 課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する
- よくわからない
- 無回答

【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳では「住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する」(17.2%)、30～39歳では「行政が行う」(37.1%)、「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」(30.5%)、40～49歳でも「課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する」(26.0%)、50～59歳で「住民と行政とが協力し、協働して行う」(35.5%)の割合がそれぞれ全体に比べて高い。



- 基本的に行政が行う
- 区民の参加を広げながら行政主体で行う
- 住民と行政とが協力し、協働して行う
- 住民が主体的に活動し、行政はそれを支援する
- 課題の内容によって、住民主体か行政主体かを区別する
- よくわからない
- 無回答